

平成22年度経済産業省委託
サプライチェーン省資源化連携促進事業

第3回サプライチェーン省資源化モデル大賞
募集要項

－ 2010年12月 －

サプライチェーン省資源化連携促進事業 事務局
(社)産業環境管理協会

平成22年度 サプライチェーン省資源化モデル大賞 応募要項

1. 目的

サプライチェーン省資源化連携促進事業の診断対象企業チームの中で、他のサプライチェーン企業チームのモデルとなるような成果を挙げた診断対象企業チームを表彰し、サプライチェーン企業間での活動の促進を図ることを目的とする。

2. 表彰対象および各賞

2.1 表彰対象

本表彰は、平成20年度、平成21年度および平成22年度サプライチェーン省資源化連携促進事業の診断対象企業チームを表彰対象とし、サプライチェーン省資源化連携促進事業における活動や取り組みを対象とする。ただし、過去の大賞受賞企業は対象から除く。

2.2 賞の種類

診断対象企業チームの中で、他のサプライチェーン企業チームのモデルとなるような成果を挙げた診断対象企業チームを下記のような視点で選定し、表彰を行う。

(1) サプライチェーン省資源化モデル大賞

診断により明らかになった課題や検討された改善策、本事業への取組体制等が他のサプライチェーン企業グループの手本となる可能性が最も高い診断対象チーム。

(2) グリーンサプライチェーン賞

大賞に準じた成果を挙げており、新たな連携体制が構築された診断対象企業グループ。

(3) 優秀カイゼン賞：

大賞に準じた成果を挙げており、改善策を実施することで優れた効果が現れている診断対象企業グループ。

(4) 特別賞

そのほか、レアメタル等の希少資源の削減に優れた効果が現れている企業チームについてはレアメタル賞等の表彰等、企業チームの取り組みに合わせた特別賞を設ける。

3. 表彰の方法

サプライチェーン省資源化連携促進事業における活動において、優れていると認められ選出された活動を各賞毎に受賞企業チームの全参加企業に対して、賞状及び盾を以て顕彰する。

4. 募集の方法

サプライチェーン省資源化連携促進事業への参加企業への公募によるものとし、団体、企業、個人による推薦または本人の申請による。

5. 提出書類

推薦者または申請者は、所定の推薦・申請書に内容を記載し提出するものとする。

(1) 申請書

申請1件につき正1部を提出する。

(2) 申請書の電子ファイル

申請書の電子ファイルを e-mail、CD-R 等で提出する。

(推薦書の電子ファイルの推薦者印は不要。)

(3) 表彰対象となる活動を説明する資料

(様式問わず、製品カタログ、業務報告書、など)

*提出された書類は返却いたしません。ご了承ください。

6. 守秘義務

申請書類で知り得た情報については、当該表彰制度の審査以外に利用及び公開しない。表彰対象者公表の際は、申請書の「参加企業チーム 情報記入欄 (表彰用)」の情報を使用する。

7. 応募期間

平成22年12月20日(月)から平成23年1月21日(金)

8. 書類の提出先 (郵送)

サプライチェーン省資源化モデル大賞事務局

社団法人産業環境管理協会

〒110-0044 東京都千代田区鍛冶町二丁目2番1号

TEL:03(5209)7708、FAX:03(5209)7716、E-mail: sc@jemai.or.jp

9. 発表・表彰

受賞候補者発表は平成23年2月に、各受賞候補者に通知する。

また、表彰式は、平成23年2月28日(月)に東京にて開催予定。

【 審査要項 】

1. サプライチェーン省資源化モデル大賞審査委員会

サプライチェーン省資源化連携促進事業の診断対象企業チームの中で、他のサプライチェーン企業チームのモデルとなるような成果を挙げた診断対象企業チームを表彰対象として選定を行うため、「サプライチェーン省資源化モデル大賞審査委員会」を設置する。

2. 審査基準

表彰するにふさわしい診断対象チームを採択するための基準を定める。以下の観点を含める。

- i) 明らかになった課題が、他のサプライチェーン企業チームにおいても発生しうるものであること。
- ii) 検討された改善策が、他のサプライチェーン企業チームにおいても適用しうるものであること。
- iii) 改善策を実施することにより、単独企業では実現できない省資源化等の効果が期待できること。

1) 選考基準

(1) サプライチェーン省資源化モデル大賞

受賞対象	診断事業採択案件の中で、最も優れた成果を挙げた企業チーム
選定基準	<ul style="list-style-type: none">・ 診断によりロスが見える化されていること。・ 診断により得られた課題が他の企業チームにおいても起こりうるものであること。・ 実現に向けた改善提案がなされていること。・ 提案された改善策が他社、あるいは他業種においても適用可能であること。・ 企業チーム全体で省資源化のための改善実施に至ったものあるいは改善が期待できること。

(2) グリーンサプライチェーン賞

受賞対象	大賞に準じた成果を挙げた企業チームのうち、特に企業間連携が促進された企業チーム
選定基準	<ul style="list-style-type: none">・ 参加企業間の資本関係が薄いこと。・ 診断事業開始前と比較して、企業間の連携が促進されたこと。

(3) 優秀カイゼン賞

受賞対象	大賞に準じた成果を挙げた企業チームのうち、特に提案された改善策実施に向けて、本格的に取り組んでいる企業チーム
選定基準	<ul style="list-style-type: none">・ 提案された改善策を実施している、または実施に向けた具体的な検討を行っていること。・ 改善策の他製品への展開が検討されていること。

(4) その他

レアメタル等の希少資源の削減に優れた効果が現れている企業チームについてのレアメタル賞等の表彰等は、案件の成果内容により判断する。

「第3回サプライチェーン省資源化モデル大賞」受賞候補者推薦・申請書

申請日： 年 月 日

■推薦者記入欄(この欄は参加企業による申請の場合は記載不要です)	
推薦者氏名・印	
所属組織名	
役職名	
電話番号	
電子メールアドレス	
所在地	〒

申請日： 年 月 日

■参加企業 記入欄	
1. 参加企業 情報記入欄 (ご担当連絡用)	
氏名	
所属組織名	
役職名	
所属組織所在地	〒
電話番号	
電子メールアドレス	
2. 表彰対象企業チーム 情報記入欄 (表彰用)	
表彰を受ける参加企業チーム名 (表彰の際に使用します)	
代表企業	
参加企業	

表彰の対象となる活動の概要

題目	
概要	(受賞活動の紹介にて使用します。改善の内容がわかるようにご記入下さい。) 400字以内厳守

	選定基準	評価基準	各々の項目の具体的説明（○をつけた根拠）
企業 チーム	参加企業に資本関係はありますか？ （該当に○）	1. 資本関係はない。 2. 一部グループ企業である。 3. すべてグループ企業である。	
	事業開始前と比較して、企業間の連携が促進されましたか？ （該当に○）	1. 企業チーム間で、来年度以降も継続して改善に取り組む体制を構築できた。 2. 企業チーム間で、対象製品以外への適用や来年度以降の継続を検討している。 3. 全参加企業の実務担当者が参加し、情報共有により改善策を検討した。 4. 情報共有により改善策の検討を行った。 5. 情報共有を行ったが、十分に活用できなかった。 6. 企業間で情報共有できなかった。	
汎用性	診断で得られた課題はどのレベルでしたか？ （該当に○）	1. 製造業全般においての一般的な課題 2. 他業種でも起こりうる課題 3. 同業種の他企業においても起こりうる課題 4. その企業の製品全般に起こりうる課題 5. その企業の対象製品固有の課題	
	活動、改善策に汎用性はありますか？ （該当に○）	1. 汎用性が非常に高い(他業種でも広く適用できる) 2. 汎用性が高い(適用可能な他業種がある) 3. 普通(同業種において広く適用できる) 4. 汎用性が低い(適用可能な他企業がある) 5. 汎用性が非常に低い(他企業での適用は困難)	
見える化	本事業によりロスが「見える化」がなされましたか？ （該当に○）	1. 隠れたロスも含めた発生量、発生箇所、発生原因が明確になっている 2. 隠れたロスの発生が確認され、定量化されている 3. 事前に予想されていたロスの定量化に加え、隠れたロスの発生が確認されている 4. 事前に予想されていたロスについて定量化されている 5. ロスの発生が確認されたが、発生量や発生原因が不明である	
改善	本事業により実現に向けた改善提案がなされましたか？ （該当に○）	1. 改善策の実施には、1年以内に実施可能 2. 改善策の実施には、1年以上の期間が必要 3. 改善策の実施には、設備投資や他のSC企業の協力等の課題がある 4. 改善策が提案されているが、実現性は不明であり、今後調査が必要 5. 改善策が提案されているが実現困難	
	改善策を実施することで企業チーム全体で省資源化が期待できますか？ （該当に○） ※ここに記載する詳細データを別添資料として添付願います。	1. 企業チーム全体で省資源化が期待できる(対象資源の30%以上) 2. 企業チーム全体で省資源化が期待できる(対象資源の30%未満) 3. 企業チーム全体で省資源化が期待できる(対象資源の10%未満) 4. 省資源化の効果は1社のみにとどまると思われる 5. 省資源化の効果は期待できない	
	改善提案をすでに実際の改善を実施しましたか？ あるいは改善実施が見込めますか？ （該当に○）	1. 改善策をすでに実施済み、あるいは今年度中に成果が見込まれる 2. 改善策を実施中である(成果は来年度以降の予定) 3. 改善策の実施計画(体制、スケジュールを含む)が立案されている 4. 改善策の大まかな実施計画が立案されている 5. 改善策の実施は困難である、あるいは実施するかどうか明確でない	
	来年度以降、継続した改善や対象以外の製品への拡大が見込めますか？ （該当に○）	1. 来年度以降も継続して改善に取り組む体制を構築し、実際に取り組みが始まっている 2. 来年度以降も継続して改善に取り組む体制を構築し、対象製品も明確になっている 3. 対象製品以外への適用や来年度以降の継続が決まっている 4. 対象製品以外への適用や来年度以降の継続を検討している 5. 対象製品のみのカイゼンにとどまる	
レア メタル	レアメタル等の希少資源について、省資源化の可能性はありましたか？	対象資源()	

表彰対象となる活動を説明する資料リスト

(提出する資料をご記入ください)

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

※上記で足りなければ, 行を追加してください。